



2020年11月10日

各位

会社名 株式会社オークネット
 代表者名 代表取締役社長 COO 藤崎慎一郎
 (コード番号：3964 東証第一部)
 問合せ先 執行役員コーポレート部門 DM 谷口博樹
 (TEL. 03-6440-2552)

2020年12月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2020年2月14日決算発表時に開示した2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2020年1月1日～2020年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,328	2,582	2,681	1,430	51.77
今回修正数値(B)	23,682	3,480	3,457	1,763	63.77
増減額(B-A)	3,354	898	775	333	
増減率(%)	16.5	34.8	28.9	23.3	
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	19,672	2,525	2,630	1,404	50.94

2. 業績予想修正の理由

第2四半期連結累計期間までの業績は好調に推移した一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は予断を許さない状況にあったことから、2020年2月14日に公表いたしました2020年12月期の連結業績予想を据え置いておりました。

第3四半期連結累計期間におきまして、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けていた四輪事業、その他情報流通事業の中古バイク、花きは、市場動向の緩やかな回復により改善がみられました。また、デジタルプロダクツ事業、その他情報流通事業のブランド品は、オンラインオークションの優位性を発揮し、引き続き、堅調に推移しております。

売上高につきましては、①2020年7月に子会社化した株式会社東京砧花き園芸市場と9月に子会社化した株式会社ギャラリーレアが連結財務諸表上加算されること、②デジタルプロダクツ事業、その他情報流通事業のブランド品が引き続き堅調に推移することを見込んでおります。

利益につきましても、売上が堅調に推移されることや、販売費及び一般管理費の削減や業務効率化の対応を積極的に行ったことから、第3四半期決算時点において、既に通期業績予想数値を超えて進捗しております。

以上の事由により、当社グループの2020年12月期の連結業績予想を修正いたしました。

また、2020年12月期の期末配当金につきましては、1株当たり10円(年間20円)の従来予想から変更はありません。

※ 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上